

はまごう小だより

自分が大好き！あなたが大好き！！

伊勢市立浜郷小学校
令和2年12月21日
発行者 平生 理恵
第21号

研究授業を行っています。

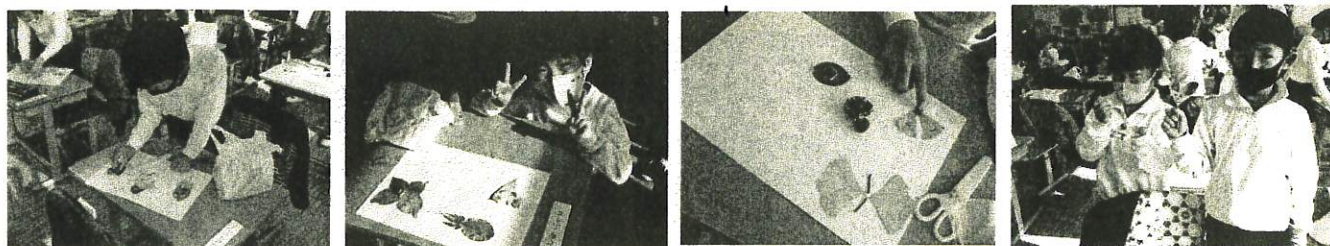


浜郷小学校では、全教科・全領域において「互いの人権を尊重し合い、心豊かに生きる子どもを育てる」を研究主題として、子ども達の指導を行っています。今年は新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、単元の実施時期を入れ替えたり、指導方法に工夫を凝らしたりしてきました。密になることを防ぐために、ペア学習やグループ学習を控えてきましたが、どうしてもこのような学習が必要となったときには十分に配慮して行ってきました。時には、一つの教室にしながら、タブレットを活用して友だち同士の意見を交流したりもしました。子ども達の「そうか！」「わかった！」の声が、指導している教師にとってはエネルギーになります。今後も子ども達に“わかる喜びを”味わわせるために研修を積んでいきます。



1年生の秋見つけ。子ども達はみんな芸術家です！

1年生の子ども達から、「校長先生、授業を見に来て下さい。」とお誘いをもらいました。教室に行くと、自分たちが秋見つけで拾ってきた葉っぱやドングリなどを使って創作活動をしていました。子ども達は葉っぱを組み合わせでチョウチョ、魚、キツネ、恐竜等々、次々と思いついたものを作り上げていきます。活動している子ども達はみんな瞳をキラキラさせて、1つできる度に、「見て見て～！」と友だちと交流していました。私にも「校長先生、これ何だと思いませんか？」と尋ねにきてくれました。「う～ん、お魚？」「残念でした。オタマジャクシでした！」それはそれは、何とも癒やされるステキな時間でした。

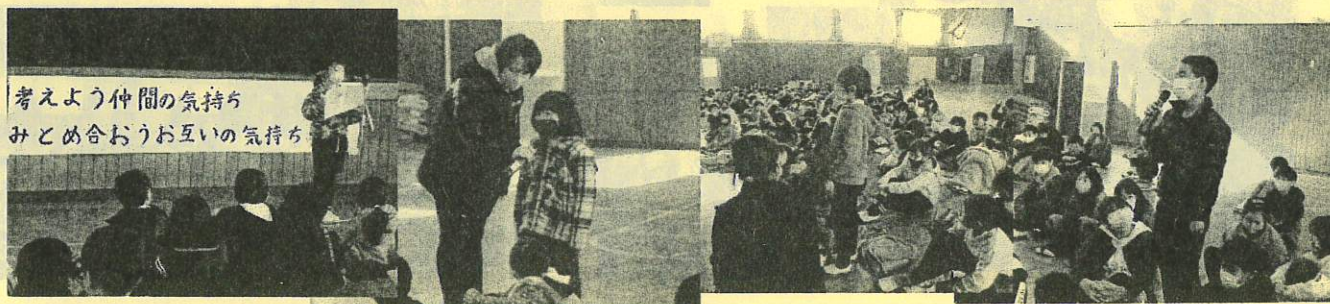


人権集会を行いました。

今年も人権集会を行いました。例年ならば、全校児童がそろって行い、保護者の方や地域の方にも参観していただくのですが、今年は感染症対策のため、低中高学年のそれぞれに分かれて、密を避けての校内発表となりました。



まずは児童会で話しあった浜郷小学校のなかよし宣言『考えよう仲間の気持ち 認め合おうお互いの気持ち』をみんなで確認し合いました。その後、それぞれの学年から一人ずつ人権作文の発表を行い、その作文をもとに同じような経験を出し合ったり、感想を伝え合ったりしました。大好きな家族に素直に『大好き』と伝える言葉の温かさ、自分の体験を振り返り、自分本位な考え方を見つめ直そうとする尊さ、当たり前な日常に、そして自分に関わってくれている周りの人に感謝の気持ちを持つことの素晴らしさ。どの作文を聞いても感動で心がポカポカになりました。いつもであれば、全校児童で心をつなげて歌を歌うという取組もあるのですが、今年はそれもできませんでした。それでも、子ども達の気持ちは一つになり、真剣に人権について考える温かな時間となりました。私からも、浜郷小学校の子ども達はどの子も本当に大切な存在であることを伝えました。そして、どの子にも「生まれてきてくれてありがとう」という気持ちでいっぱいになりました。どうか、自分という存在がどれほど大事であるかを実感し、自分も周りの人も大切にしてほしいと思います。



薬の正しい使い方を学びました。

12月18日(金)、学校薬剤師の三井先生にご来校いただき、薬の正しい使い方について教えていただきました。体調不良になると、ついつい薬に頼ってしまいますが、一口に『薬』といっても、正しく使わないと、体調を回復するどころか却って体調を悪くしてしまうこともあります。そこで、担任の先生と養護教諭の尾中先生によるロールプレイングや、実験の実演によって、薬についての正しい知識を教えてもらいました。薬の効き目が表れるようにするにはいくつ飲むか、何回飲むか、いつ飲むか、何で飲むかを守って正しく使うことが大切さであることを学びました。けれど、三井先生は、健康な毎日のためには、食事・睡眠・運動の三つのキーワードが1番大切であるとおっしゃっておられました。

